

平成30年度 沖縄県立八重山農林高等学校 学校評価【学校関係者評価】

I 学校教育目標(教育方針)

1	自他の生命と人格を尊重・敬愛する精神と自ら学ぶ意欲と態度を育てる。
2	基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、進路を主体的に学ぶ意欲と態度を育てる。
3	「愛郷愛土」の文化と伝統の継承に努める態度と「誠実・創造・実践」を体現できる技術の育成を図る。
4	社会や環境の変化に柔軟に対応したキャリア教育と安全教育の推進に努める。
5	国際化・情報化社会及び地域産業の発展に主体的に寄与する献身の精神とコミュニケーション能力および豊かな心の育成を図る。
6	個々の持ち味を活かすユニバーサル・デザイン化の職業観・勤労観の育成を図る。

II 今年度の学校経営目標(経営方針)

1	全職員の教育的実現を通して、調和のとれた学校経営に努める。
2	教育目標の具現化を図る各学科・系列・コース制の教育計画推進と検証に努める。
3	PDCAサイクルを確立し、「探求・開発」教育に努め、生徒個々の進路を保障する学校づくりに努める。
4	教職員の資質・力量を高めるために教職員研修の充実に努める。
5	学習環境を整備し、施設・設備等の教育条件の充実に努める。
6	学校・家庭・同窓・地域社会との密接な連携を図り、生徒の健全育成に努める。

III 評価 【評価基準：A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない】

評価項目	具体的目標	具体的目標に対する取組状況	自己評価	平成31年度課題等	学校関係者評価	学校関係者からの要望等
1 教育目標	・自己実現が図れる生徒の育成	・豊かな人間性を培う教育をしている	A	就職決定率の向上	A	校長が示した「本校が求める生徒像」を教職員で共通理解し、その具現化に向けた取り組みに期待します。
		・職業観、勤労観を育む教育をしている	A			
		・優れた知性と逞しい体力を育成している	A			
2 教育計画	・教育目標の実現に向けた教育計画の推進	・授業時数が確保され、充実した学習指導を実施している	A	「県立高等学校生き生き活性化支援事業」2年目の取り組み	A	学科改編後、ここ数年で生徒は落ち着いてきた感があります。教育活動全般の成果ではあるが、持続的に成果を維持して下さい。
		・特色ある学校づくりが行われている	A			
		・学科改編により学校の雰囲気良かった	A			
3 各教科・科目の指導	・「わかる授業」「参加する授業」を通じた確かな学力の定着	・学力の向上が図られている	B	追試指導の充実。改善	A	学力の面で、多様な生徒への学習支援が行われるよう、授業の工夫・改善に努めて下さい。
		・授業の工夫及び改善がなされている	B			
		・生徒のプロジェクト学習が充実している	A			
4 総合的な学習の時間	・自ら学ぶ意欲と態度を育成並びに自己解決能力の修得	・科目「課題研究」に熱心に取り組んでいる	A	各種大会への積極的な参加 生徒会を中心とした自治活動の推進	A	新商品開発など、地域を媒体としたプロジェクト活動の活性化に期待します。
		・生徒の自主的な学習態度を育成している	A			
		・学級活動の充実が図られている	B			
5 特別活動	・望ましい集団活動を通じた心身の調和のとれた発達と個性の伸長	・生徒会の活性化が図られている	A	アルバイト優先の傾向が高い生徒がいる 部活加入率の向上	B	1学年(入学時)全生徒登録制を活用して、持続的な活性化につなげて下さい。
		・部活動の活性化が図られている	B			
		・基本的な生活習慣の確立に向けた指導が充実している	A			
6 生徒支援	・個々の生徒に対応できる支援体制の確立	・保護者、地域と連携した生徒指導である	A	保護者(家庭)の協力が必要不可欠である こころサポートアンケートの継続実施 職員研修の充実で資質向上を図る	A	携帯電話やSNSに関連して、指導される生徒が増加傾向にあり、喫緊の課題かと思えます。系統かつ持続的な指導をお願いします。
		・いじめの早期発見・未然防止に努めている	A			
		・体罰のない指導に努めている	A			
		・早期決定に向け、組織的な取り組みがなされている	A			
7 進路支援	・生徒個々の適切な進路選択に対する支援体制の確立	・生徒並びに保護者へ進路に関する情報提供がなされている	A		A	進路決定において、引き続き個々に応じたきめ細かい指導をお願いしたい。
		・健康教育の推進が図られている	A			
8 健康・安全指導	・生命の尊重と健康に対する意識の高揚	・安全教育の徹底が図られている	A	保護者との連携 日常を意識した「安全教育」の徹底	A	校舎改築もあり修繕等には制限もあると思うが自助努力で改善を図って欲しい。
		・安全意識の高揚	A			
9 環境美化	・教育環境の整備及び施設・設備の充実	・ごみ分別及び清掃の徹底がなされている	A	マスタープランの見直しと早期の校舎改築は課題である	B	
		・学校施設、農場がきれいに整備されている	A			
10 研究・研修	・教職員の資質向上及び服務遵守の徹底	・職員の研究と修養が行われている	A	計画的な職員研修の実施	A	
11 家庭・地域社会との連携	・保護者並びに地域社会との連携による学校教育の推進	・PTA活動の活性化が図られている	A	PTA研修等の研修会の実施	A	志願状況が非常に厳しい。魅力ある学校づくりと並行して、学校の情報発信を強化するなど、引き続き、生徒募集活動の強化を図って下さい。
		・各種研究団体、教育機関との連携が図られている	A			
		・HPやマスコミ等で学校の情報が発信されている	A			
12 生徒理解	・生徒と教職員の信頼関係の構築	・生徒理解に向けた取組がなされている	A	進路個別担当制度の充実	A	中途退学者は減少傾向にある。関係職員の連携を密にし、目標値を共有して下さい。
		・個々の生徒に対応した就学(進級・転学・中途退学対策等)支援が充実している	A			
13 校納金	・教育活動の充実に向けた効果的な予算執行	・徴収方法等について説明が十分なされている	A	納入期限の遵守は課題である	A	未納生徒への指導は、HR担任、学科の協力も必要かと思えます。
		・支払項目等が適正である	A			

## 平成30年度 学校評価（学校評議員アンケート）－結果－

※このアンケートは、八重山農林高等学校の教育活動をより充実したものにするためのものです。下記項目の評価を評価基準に沿って、評価欄のA・B・C・Dに○をつけてください。判断できない(わからない)ことについては○を書かなくても結構です。

【評価基準： A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない】

	質問事項	評 価			
		A	B	C	D
1	学校では学習の基礎的・基本的な事項の定着に努めている	100	0	0	0
2	学校は、生徒の様子や行事等について保護者に情報提供している	75	25	0	0
3	特色ある学校づくりが行われている	100	0	0	0
4	学科改編により学校の雰囲気良くなった	75	25	0	0
5	学校ホームページやマスコミ報道等により学校の情報が発信されている	100	0	0	0
6	学校は、校舎内外の環境整備に努めている	100	0	0	0
7	学校の教育活動について、保護者への周知が図られている	100	0	0	0
8	教職員は、学習及び生徒指導等において厳しく指導している	0	75	25	0
9	教職員は、生徒の実態を良く理解して指導にあたっている	25	50	25	0
10	生徒への学校生活全般にわたる指導が日常生活においても生かされている	25	50	25	0
11	学校としていじめを許さない体制づくりに努めている	100	0	0	0
12	学校は、体罰はしない、させないという雰囲気がある。	100	25	0	0
13	学校は、家庭や地域との連携をとり、生徒をよく指導している	50	50	0	0
14	学校は、生徒・保護者・地域の願いをくみ取って教育活動を行っている	50	25	25	0
15	学校は、保護者や地域の人々に学校施設を開放している	50	25	25	0
16	学校は、地域の人材を活用し魅力的な教育活動を行っている	25	50	25	0
17	学校のPTA活動が、保護者と協力して行われている	50	50	0	0
18	学校の様々な行事に、保護者や地域の人々が参加している	75	0	25	0
19	担任の先生以外の職員に対して気軽に話ができる雰囲気がある	50	25	25	0
20	家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意を払っている	25	75	0	0
21	学校は、様々な徴収金について、その使途や決算について説明責任を果たしている	75	25	0	0
22	<p>その他、学校へのご意見・ご要望等がありましたら記入ください。</p> <p>○ここ数年、入学志願者数も定員割れの状況にあり、島外流出が懸念されるが、入学時の生徒数を下回る卒業生の人数がここ5年で100名を切る状況にあることが非常に懸念されます。これ迄以上に、中学校や地域の方々の本校へ対する意識の改革が臨まれると考えます。○農業を取り巻く国内的・国際的環境の多様化に伴うブランド化やグローバル化は、一層厳しさを増す中で、教育に求められるのは大変だろうと思います。海外からは日本のTVは「お笑い食べ物」と揶揄されていますが、逆を言えばそれだけ「食」に関するニーズが高く、食を育む農業に対する期待が高いと思います。学力の基礎的・基本的事項をおさえ、さらなる職業教育に励まれんことを期待します。</p>				

## 平成30年度 学校評価（職員用）—結果—

下記項目の評価を評価基準に沿って、評価欄のA・B・C・Dに○をつけてください。

【評価基準：A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない】

評価項目	具体的目標	具体的目標に対する取組状況	評価(%)				今年度の課題点
			A	B	C	D	
1 教育目標	・自己実現が図れる生徒の育成	・豊かな人間性を培う教育をしている	54.5	45.5	0.0	0.0	
		・職業観、勤労観を育む教育をしている	51.5	45.5	3.0	0.0	
		・優れた知性と逞しい体力を育成している	15.2	78.8	6.1	0.0	
2 教育計画	・教育目標の実現に向けた教育計画の推進	・授業時数が確保され、充実した学習指導を実施している	12.1	78.8	9.1	0.0	
		・特色ある学校づくりが行われている	69.7	30.3	0.0	0.0	
		・学科改編により学校の雰囲気良くなった	66.7	33.3	0.0	0.0	
3 各教科・科目の指導	・「わかる授業」「参加する授業」を通じた確かな学力の定着	・学力の向上が図られている	9.1	75.8	15.2	0.0	・職員間で授業の工夫、改善を図る姿勢に温度差がある。
		・授業の工夫及び改善がなされている	21.2	72.7	6.1	0.0	
		・生徒のプロジェクト学習が充実している	33.3	63.6	3.0	0.0	
4 総合的な学習の時間	・自ら学ぶ意欲と態度を育成並びに自己解決能力の修得	・科目「課題研究」に熱心に取り組んでいる	30.3	54.5	15.2	0.0	
		・生徒の自主的な学習態度を育成している	18.2	63.6	18.2	0.0	
5 特別活動	・望ましい集団活動を通じた心身の調和のとれた発達と個性の伸長	・学級活動の充実が図られている	18.2	66.7	15.2	0.0	・部活加入率の向上と部活動の活性化は課題である。
		・生徒会の活性化が図られている	42.4	51.5	6.1	0.0	
		・部活動の活性化が図られている	18.2	39.4	39.4	3.0	
6 生徒支援	・個々の生徒に対応できる支援体制の確立	・基本的な生活習慣の確立に向けた指導が充実している	24.2	60.6	15.2	0.0	・いじめ、問題行動を未然に防ぐ取り組みについては、家庭・保護者の理解と協力が必要である。
		・保護者、地域と連携した生徒指導である	42.4	57.6	0.0	0.0	
		・いじめの早期発見・未然防止に努めている	75.8	24.2	0.0	0.0	
		・体罰のない指導に努めている	90.9	9.1	0.0	0.0	
7 進路支援	・生徒個々の適切な進路選択に対する支援体制の確立	・早期決定に向け、組織的な取り組みがなされている	42.4	54.5	3.0	0.0	
		・生徒並びに保護者へ進路に関する情報提供がなされている	33.3	57.6	9.1	0.0	
8 健康・安全指導	・生命の尊重と健康に対する意識の高揚	・健康教育の推進が図られている	54.5	36.4	9.1	0.0	・食育に関する健康教育の充実
		・安全教育の徹底が図られている	45.5	45.5	6.1	3.0	
9 環境美化	・教育環境の整備及び施設・設備の充実	・ごみ分別及び清掃の徹底がなされている	54.5	42.4	3.0	0.0	・施設の修繕(特に普通教室棟)が不十分である。校舎改築も控え、厳しい感はあるが、学習環境の保障を図っていくべき。
		・学校施設、農場がきれいに整備されている	39.4	54.5	6.1	0.0	
10 研究・研修	・教職員の資質向上及び服務遵守の徹底	・職員の研究と修養が行われている	63.6	36.4	0.0	0.0	・職員研修の精選を図る
11 家庭・地域社会との連携	・保護者並びに地域社会との連携による学校教育の推進	・PTA活動の活性化が図られている	36.4	60.6	3.0	0.0	
		・各種研究団体、教育機関との連携が図られている	33.3	63.6	3.0	0.0	
		・HPやマスコミ等で学校の情報が発信されている	60.6	39.4	0.0	0.0	
12 生徒理解	・生徒と教職員の信頼関係の構築	・生徒理解に向けた取組がなされている	72.7	27.3	0.0	0.0	
		・個々の生徒に対応した就学(進級・転学・中途退学対策等)支援が充実している	81.8	18.2	0.0	0.0	
13 校納金	・教育活動の充実に向けた効果的な予算執行	・徴収方法等について説明が十分なされている	39.4	60.6	0.0	0.0	・未納生徒への指導(声かけ)
		・支払項目等が適正である	39.4	60.6	0.0	0.0	
14 その他、学校へのご意見・ご要望等がありましたら記入ください。 ○職員研修の精選 ○夏季休業の期間が他校より短い ○学科名と内容がいまいちリンクしていない ○進学するのは割と簡単だが、学力等の問題で進学先で勉学を継続し、卒業できるかが心配である。その課題があるため、学力の定着が必要である。 ○相談しやすく働きやすい環境に感謝しています ○チーム八重農の力で学校が大きく改善していると感じる							

## 平成30年度 学校評価（保護者用アンケート）

※このアンケートは、八重山農林高等学校の教育活動をより充実したものにすためのものです。下記項目の評価を評価基準に沿って、評価欄のA・B・C・Dに○をつけてください。判断できない(わからない)ことについては○を書かなくても結構です。

【評価基準： A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない】

	質問事項	A	B	C	D
1	学校では学習の基礎的・基本的な事項の定着に努めている	44.1	52.7	3.2	0.0
2	学校は、生徒の様子や行事等について保護者に情報提供している	40.9	48.4	10.8	0.0
3	特色ある学校づくりが行われている	59.1	38.7	2.2	0.0
4	学科改編により学校の雰囲気良くなった	41.9	52.7	5.4	0.0
5	学校ホームページやマスコミ報道等により学校の情報が発信されている	43.0	52.7	4.3	0.0
6	学校は、校舎内外の環境整備に努めている	51.6	45.2	3.2	0.0
7	学校の教育活動について、保護者への周知が図られている	34.4	53.8	10.8	1.1
8	教職員は、学習及び生徒指導等において厳しく指導している	40.9	50.5	8.6	0.0
9	教職員は、生徒の実態を良く理解して指導にあたっている	32.3	61.3	6.5	0.0
10	生徒への学校生活全般にわたる指導が日常生活においても生かされている	25.8	66.7	7.5	0.0
11	学校としていじめを許さない体制づくりに努めている	31.2	61.3	7.5	0.0
12	学校は、体罰はしない、させないという雰囲気がある。	37.6	54.8	7.5	0.0
13	学校は、家庭や地域との連携をとり、生徒をよく指導している	38.7	53.8	7.5	0.0
14	学校は、生徒・保護者・地域の願いをくみ取って教育活動を行っている	39.8	52.7	7.5	0.0
15	学校は、保護者や地域の人々に学校施設を開放している	50.5	40.9	8.6	0.0
16	学校は、地域の人材を活用し魅力的な教育活動を行っている	46.2	48.4	5.4	0.0
17	学校のPTA活動が、保護者と協力して行われている	46.2	47.3	6.5	0.0
18	学校の様々な行事に、保護者や地域の人々が参加している	50.5	44.1	5.4	0.0
19	担任の先生以外の職員に対して気軽に話ができる雰囲気がある	39.8	48.4	10.8	1.1
20	家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意を払っている	45.2	48.4	5.4	1.1
21	学校は、様々な徴収金について、その用途や決算について説明責任を果たしている	39.8	49.5	10.8	0.0
22	その他、学校へのご意見・ご要望等がありましたら記入ください。				

## 平成30年度 学校評価（生徒用アンケート）－結果－

※このアンケートは、八重山農林高等学校の教育活動をより充実させるため、生徒の皆さんの意見を聞き学校改善の資料とするために行うものです。下記項目の評価を評価基準に沿って、感じたままに素直に評価欄のA・B・C・Dに○をつけてください。

【評価基準： A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない】

評価項目	質問事項	評 価			
1 学校生活について	・学校に行くのが楽しい	28.3	41.7	21.7	8.3
	・ホームルームの雰囲気が良い	40.0	38.3	13.3	8.3
	・農業祭、運動会、農業クラブ大会、球技大会など学校行事が楽しみである	31.7	55.0	8.3	5.0
	・生徒会や部活動が盛んで楽しい	25.0	33.3	36.7	5.0
	・校舎内外やトイレ等の清掃が丁寧できれいな学校である	16.7	35.0	35.0	13.3
	・あいさつが良く、元気のある学校である	31.7	50.0	13.3	5.0
	・友人がたくさんできた	40.0	41.7	18.3	0.0
	・学校は、生活指導や服装指導がよくなされている	40.0	50.0	8.3	1.7
	・学科改編により、学校の雰囲気が良くなった	36.7	48.3	11.7	3.3
	・いじめや暴力は許さないという雰囲気がある	38.3	48.3	10.0	3.3
2 学習面について	・何を学習するか、いつも課題を持って学習に臨んでいる	18.3	56.7	20.0	5.0
	・授業はわかりやすく楽しい	23.3	46.7	25.0	5.0
	・集中して授業を受けることができる	25.0	50.0	23.3	1.7
	・授業では実験や実習など体験的な授業が多くある	41.7	46.7	11.7	0.0
	・将来の進路に結びついた授業をしている	30.0	45.0	16.7	8.3
3 環境・美化について	・清掃には必ず参加している	36.7	48.3	11.7	3.3
	・ゴミはきちんと分別してゴミ箱に捨てられている	58.3	35.0	5.0	1.7
	・学校の施設や農場はよく整っている	40.0	46.7	11.7	1.7
4 教師について	・先生には、何でも気軽に相談できる	25.0	35.0	26.7	13.3
	・信頼できる先生がいる	31.7	30.0	25.0	13.3
	・よくほめてくれる先生がいる	33.3	35.0	21.7	10.0
	・しかってくれる先生がいる	35.0	38.3	18.3	8.3
	・人としての生き方や命の大切さ、社会のルールを教えてくれる	48.3	31.7	11.7	8.3
	・わからないことを丁寧に教えてくれる先生がいる	50.0	30.0	13.3	6.7
	・教え方をいろいろ工夫してくれる先生がいる	51.7	31.7	10.0	6.7
	・体罰をしない、させないという雰囲気がある	58.3	28.3	8.3	5.0
5 教育相談について	・保健室は利用しやすい	43.3	38.3	13.3	5.0
	・教育相談室は利用しやすい	30.0	36.7	30.0	3.3
	・学校は安心していられる場所である	31.7	38.3	21.7	8.3
6 家庭・地域との連携	・地域の行事等に積極的に参加している	33.3	33.3	26.7	6.7
	・家では学校のことをよく家族で話し合う	30.0	38.3	16.7	15.0
	・学校からの便り、連絡等は家に届けている	43.3	36.7	16.7	3.3
	・八重山農林高等学校は、地域から高く評価されている	41.7	45.0	10.0	3.3
7 その他、学校への意見や要望等がありましたら記入してください。	<p>・2学年があまりまとまりがない ・楽しい学校にしたい ・トイレをきれいにして欲しい ・八重高祭や商工祭のように農高祭ができればもっとすばらしい ・携帯を持ち込みOKにして欲しい ・寮生や離島生のことを考えて欲しい</p>				

(別紙様式)

## 平成30年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立八重山農林高等学校
記載者名	教頭 田中大三

### 1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	32	2	0	37

※その他 ( )

### 2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	4	0				9

※その他 ( )

### 3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	93	218	0				311

※その他 ( )

### 4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他(PTA総会にて提示)
学校関係者評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他(PTA総会にて提示)

### 5 平成29年度の学校評価を踏まえ、平成30年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①基本的な生活習慣の確立を目指したあいさつ・マナーアップ運動の自主的な実施(生徒会等)
②教育活動全般におけるキャリア教育の実践(外部機関との連携)
③こころサポートアンケートの実施・分析によるいじめの未然防止
④創意工夫を凝らした生徒募集活動の取り組み
⑤放課後講座等の実施による追試対象者への支援

### 6 平成30年度の学校評価で明らかになった課題

①基礎学力の向上及び基本的な生活習慣の確立(継続課題)
②内規の見直し及び教育課程の再点検(学科改編後の6力年を検証する)
③生徒募集活動の充実(ここ数年、高校入試の志願状況が厳しい)
④ユニバーサルデザインを導入した学習環境の整備 施設・設備の充実(校舎改築との兼ね合い)
⑤携帯電話やSNSで指導になった生徒に対し、モラルやマナーに関する支援教育が必要

### 7 平成30年度の学校評価を活かした平成31年度の改善点

①朝学及び資格取得講座の充実強化
②「県立高等学校生き生き活性化支援事業」2年目の取り組み
③体験入学のあり方など、学校PR及び生徒募集活動の工夫改善
④「生徒支援会議」等を活用した、生徒の実態把握(次年度は、中途退学対策加配が解消)
⑤関係機関・外部団体を有効活用した職員研修及び生徒向け講話の実施